

チュニジアデータ

国名	チュニジア共和国 (Republic of Tunisia)
国土面積	164,154Km ² (日本の0.4倍)
人口	990万人(2003年央)
首都	チュニス(約83万人)
主要言語・宗教	アラビア語(公用語)フランス語 イスラム教(スンニ派が大部分)
政体	共和制
元首	ズィン・エル・アビディン・ベン・アリ大統領
通貨	チュニジア・ディナール (2004年11月末 1ドル=1.2142TD)
政府公式HP	http://www.ministeres.tn/index.html



政治・経済動向

ベン・アリ大統領は1987年にブルギバ氏の後継として登場して以来、17年間大統領の座に留まっている。憲法を改正して臨んだ2004年10月の大統領選でも圧勝して4選を決めている。2009年の次回選挙にも出馬し、大統領として政権の座にとどまる可能性も残されている。ベン・アリ大統領は、近代化・西欧化を推進する一方で、民主化運動およびイスラム過激主義も抑え込み、政治的安定を確保している。しかし、ベン・アリ体制が長期化する中でその後継問題と民主化への取り組みが課題となる。2003年から2007年にかけて、経済成長率は年平均5.2%の成長が達成されている。一方、2ケタ台で高止まりしている失業率は構造的課題とされる。

主要経済指標

国内総生産(GDP)	2002年210億ドル、2003年250億ドル
1人当たりGDI	2003年2,240ドル
GDP伸び率	2002年1.7%、2003年5.6%
外貨準備高(2003年末)	29.57億ドル
消費者物価上昇率	2002年2.7%、2003年2.7%
対外債務残高(2003年末)	154.73億ドル
GDPの産業別構成(2003年)	農業12.1%、工業28.1%、サ-ビス業59.8%

主要産業

温暖な気候に恵まれ、伝統的に農産物は、小麦、大麦、かんきつ類、オリーブ、ナツメヤシ等を産する。鉱業は、石油、天然ガス、リン鉱石の採掘が中心。工業部門では外貨受入れに早くから取組み、機械部品、電気部品、食品加工、セメント、化学のほか、皮革・繊維も成長が著しい。サービス業分野では観光業が外貨収入の柱となっている。政府は情報通信産業の育成にも力を入れている。

貿易

貿易額の推移(100万ドル)

	2002年	2003年
輸出(FOB)	6,857	8,027
輸入(CIF)	9,504	10,896

主要商品類別輸出入(2003年、100万ドル、%)

輸出(FOB)		
品目	金額	構成比
繊維	3,303	41.1
電気機器	930	11.5
石油・同製品	800	9.9
皮革	487	6

輸入(CIF)		
品目	金額	構成比
繊維	2,287	20.9
機械	1,423	13
石油・同製品	1,312	12
皮革	1,131	10.3

主要国・地域別輸出入(2003年、100万ドル、%)

輸出(FOB)		
国名	金額	構成比
フランス	2,860	35.6
イタリア	1,831	22.8
ドイツ	964	12
リビア	393	4.9

輸入(CLF)		
国名	金額	構成比
フランス	3,402	31.2
イタリア	2,552	23.4
ドイツ	1,090	10
スペイン	654	6

日本との経済関係

日本との貿易の推移(100万ドル)

年	日本の輸出	日本の輸入	バランス
2002	6,358	2,852	3,506
2003	7,296	3,599	3,697
2004	11,235	6,352	4,883

日本の直接投資額の推移(億円)

年	件数	金額
2002	0	0
2003	0	0
2004	0	0

一般事情

気候 北部には山脈、中央部には平野が広がる。冬は温暖で雨も多いが、夏は乾燥して気温が高い。南部はサハラ砂漠に繋がる乾燥地帯である。

日本との時差 - 9時間

在留邦人数(2002年12月)251人